

～地域資源の活用によるまちづくり～

地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想

熊本県小国町長
北里耕亮



小国町の概要

■位置: 熊本県最北端

■人口: 約7,800人

■面積: 137km²
(78%を山林が占める)

■おもな産業:
農業・林業・観光業



小国町

地熱と森林資源に恵まれた町



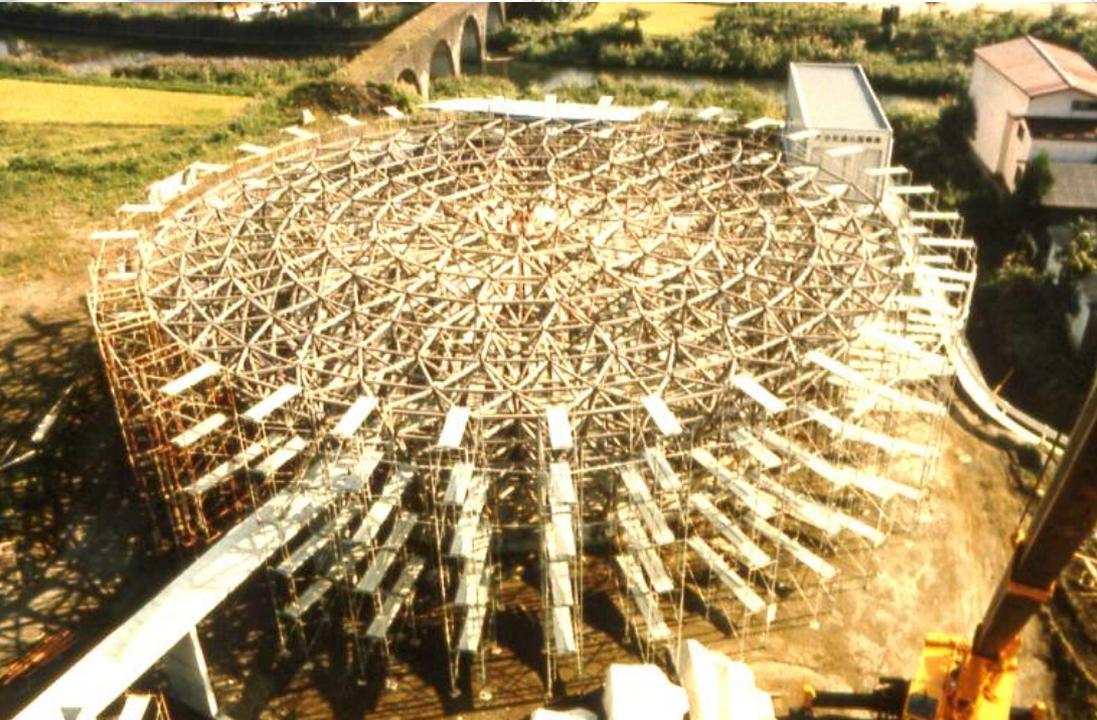
集落のいたるところから蒸気が立ち上がる
(杖立温泉)

小国町を代表する景観：杉木立



森林資源の活用





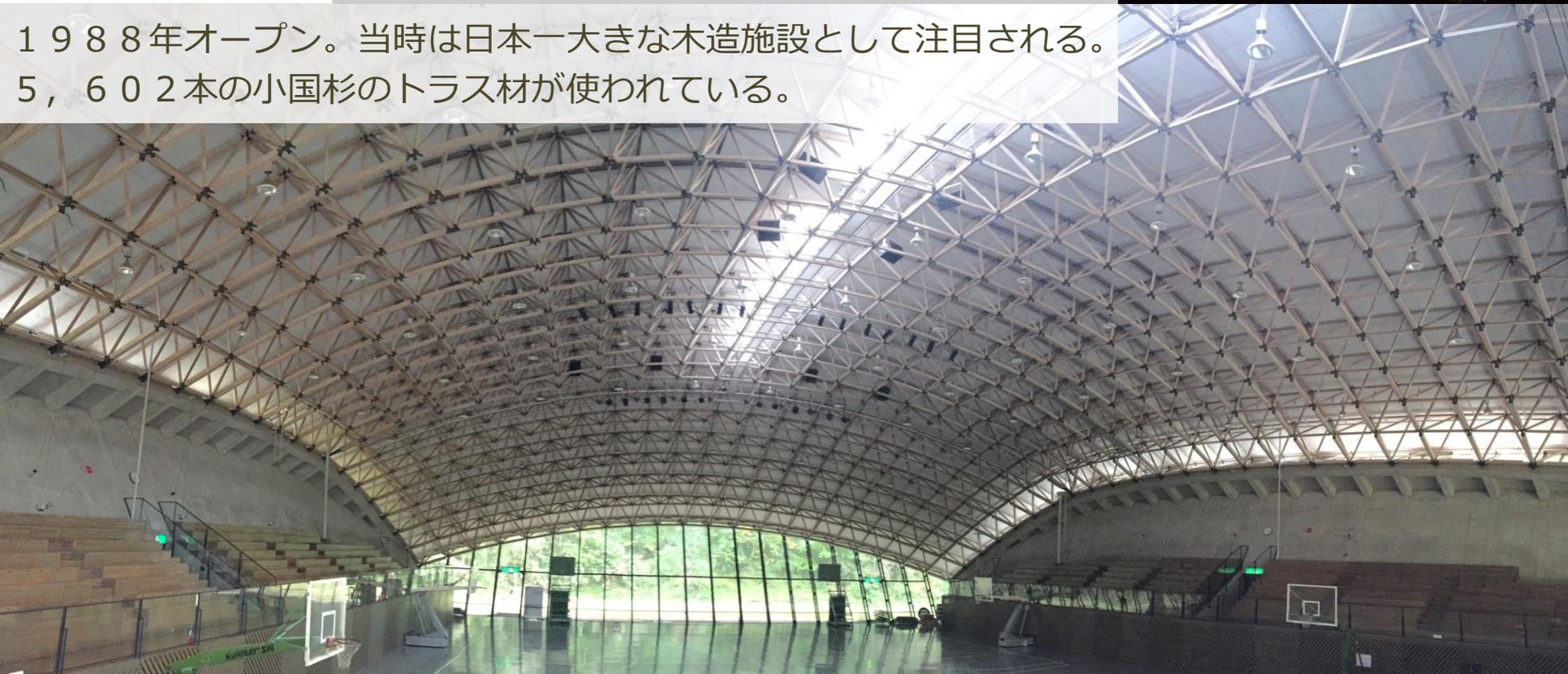
道の駅 ゆうステーション

1988年に建設。
日本初の木造立体トラス構法。



小国ドーム

1988年オープン。当時は日本一大きな木造施設として注目される。
5,602本の小国杉のトラス材が使われている。



地熱資源の活用



わいた温泉郷



戦前から**熱**を大事にし、うまく**活用**してきた地域

わいた温泉郷の人々の暮らし



蒸し場(天然の蒸し器)

わいた温泉郷の人々のくらし



地熱乾燥小屋

地熱乾燥小屋

配管に蒸気を通し、小屋内部の温度を上げ、野菜・衣類などを乾燥させる施設。



乾燥した菊芋



特産品として販売

この仕組みを利用して・・・



地熱木材乾燥施設



環境に優しく木材に優しい

学びやの里 木魂館

1988年オープン。



一般財団法人 学びやの里

郷土が生んだ世界的細菌学者
北里柴三郎博士の“**学習と交流**”の精神
を受け継ぎ、将来につなげることを
目的として1996年2月に設立。



北里柴三郎博士

活躍する移住者

- 入交律歌
- 高知県出身
- 2012年4月～
小国町森林組合企画販売係



アロマオイルや
ルームスプレー、
ハンドクリームなど
化粧品にも。



ogunisugi craft
小国杉アロマシリーズ
TESTER

小国町森林組合

ご自由に
お試しください!

小国町子育て支援センター カンガルーのぽっけ



環境モデル都市 小国町

資源の有効活用を軸に、町内外の多様な人材が活躍する町



最後に



子供たちの笑顔のために

小国町長 北里耕亮